

夏休みラジオ体操会 はじまる



今年も夏休みラジオ体操が7月18日(日)に海浜打瀬小学校、校庭を会場に始まりました。昨年からラジオ体操は新型コロナウイルス感染予防として、各小学校で1週間ずつの3週間で行うことや、子どもたちが楽しみにしている出席カードへのスタンプ押しを控えるなど、いつもと違ったスタイルで行っているのが参加者数の減少が心配されていましたが、蓋を開けてみると初日から500人ほどの参加者がありました。コロナ禍でお父さんが在宅勤務で家にいることが多くなったせいか、小さな子どもがお

父さんと一緒に参加という姿が増えたような気がします。

そんな中、2日目の海浜打瀬小校での体操会ではこんなシーン(?)がありました。いつもなら体操が終わりリーダーが朝礼台から降壇すると、すぐに子どもたちがラジオ体操カードを持って朝礼台付近に集まり大混雑になるのですが、この日のラジオ体操では体操が終わると参加者の間から自然に拍手が起きそれがしばらく続くという、少し感動的な光景がありました。誰か

が拍手をして、それが広がってラジオ体操会場全体が拍手に包まれたのです。6年生リーダーたちが毎朝頑張って模範体操をしていることへの応援や賞賛の気持ちが自然に出たものようで、とても気持ちがいい光景でした。

ラジオ体操はこの後、8月1日(日)から8月21日(土)までお休みし、そのあと

8月22日(日)～8月28日(土)
打瀬小学校を会場にして行われます。



今年の6年生リーダー18人。例年に比べて男子が多く、7人が参加してくれました。リーダーは立候補制で誰でも参加できるのですが、クラス内で「やります!」と手を挙げるのは相当な勇気が必要です。中には就学前から毎年ラジオ体操に来ていて、伴奏を聞けばすぐに身体が動き出すという「ラジオ体操の申し子」のような子、そして兄弟の中にラジオ体操リーダーとして過去に活躍したOB・OGの妹、弟という子も多く、今年はそんなラジオ体操兄弟が7人も参加しています。今年のリーダーたちの技術レベルが高い訳です。



雨でラジオ体操会が休みのときもリーダー達はいつもどおり朝6:00には会場に来て練習します。こんなとき美浜打瀬小の外回りの廊下はとてもいい練習場所になります。アリーナの壁面がガラスで覆われた部分が廊下に面しているため、それが鏡のように自分の動きを写してくれるのです。自分の姿勢を鏡に写し、確認しながら練習すると、ちょうどバレエなどで大きな鏡のある部屋で自分の動きを確認しながら練習するのと同じで、「斜め上45°」などという精密な腕の位置も正確に意識して練習できます。



ラジオ体操会で使用するラジオやCD、アンプなどのPA機器を操作するのは軽部君(中3)。第1体操、第2体操のそれぞれの運動を途中から練習するときなども正確に頭出しをして、どの部分からでも実技指導が始められるようにしてくれます。

軽部君ももちろん小6のときにリーダーになり、そのまま毎年夏休みにはラジオ体操会でPA係をしています。彼の他にも、会場付近の自転車の整理をしたり、鎌田さんに代わって模範体操をするリーダーOBたちがラジオ体操会を支えています。そしてもちろん彼らの弟・妹もリーダーに立候補しています。ちょっとした伝統です。

MAKUHARI BEACH CLEAN

「取っても取ってもキリがないよ…」とお父さんがつぶやき「マイクロプラチ…」と幼児がプラスチック片を含む砂を掻き取ってふるいにかける。そんな体験をしたら、日常生活から出るゴミや環境問題について考えずにはいられません。これは6月26日(土)午前の幕張の浜での一場面。歩いてすぐの身近な所で、多くの市民が清掃で汗を流しました。【小原】



6/26日のBEACH CLEAN。この日は引き潮だったため、突堤まで脚を伸ばして掃除することができた。

冒頭でちょっと深刻に書き始めてしまいましたが、堅苦しくて重労働なボランティア活動ではありません。毎月1回午前10時から1時間幕張の浜を清掃する活動です。自由参加で、感染予防のため名前・連絡先を記しますが、会員登録などはありません。主催は「ここから☆ビーチクリーン隊」という団体。幕張の浜、検見川の浜、いなげの浜で清掃活動に当たっています。このクリーン隊を幕張の浜で率いるのは小亀さおりさんです。「国際都市幕張を訪れる海外からの多くのお客さんをきれいな海でお迎えしたい。また、未来を担う子どもたちに海での楽しい記憶を残してあげたい。そのような思いでこの活動を始めました」と語ります。楽しい思い出を作りたくても海岸にはプラスチック製品始め様々なゴミが漂着し、残念な光景が広がっているのが現状。近年世界的環境問題として海洋プラスチックごみやマイクロプラスチックが喫緊の課題になっていますが、その深刻さはここ幕張の浜も例外ではありません。幕張、検見川、いなげの3つの浜を制覇(?)した常連参加者によると。「それぞれ浜によって海と風の流れの加減が漂着する

ゴミの種類が違うなど、発見があります。この幕張の浜は、マイクロプラスチック(になりかけの小片)が特に多いです」ということですから、キリがないと途方に暮れるのも当然です。

ゴミ収拾は正味30分ぐらい。ゴミの分別の後、小亀さんの思いが詰まった応援ソング「幕張の浜」をみんなで歌って解散し、心地よい風を感じながらの帰宅となりました。出たゴミは、可燃ゴミ22袋、ペットボトル2袋他山ほどありましたが、使い捨てライターやバーベキュー網・調理用具、鉄屑等大人の身勝手さを感じさせるものもありました。

6月の幕張の浜ビーチクリーン参加者は、千葉市の広範囲から大人61名子ども10名。もちろんベイトウンからの参加者は大勢います。年配の方々が散歩を兼ねて知り合いと話しながらゴミ拾いしたり、茶々まくり保育園でこの活動を紹介されて以来お友達と誘いあわせて(もちろん家族同伴で)参加したり、と様々なきっかけでの参加でした。孫娘に誘われて参加した女性の感想です。「こんなに多いとは驚きました。プラスチックゴミも新しいものが

多いですね。ゴミ問題を大人としてしっかり考えるべきだと思います」。そのお孫さんは「たのしかった。ひろうのはおもしろい」と言ってくれましたが、拾うのはきれいな貝殻にしてあげたいものです。

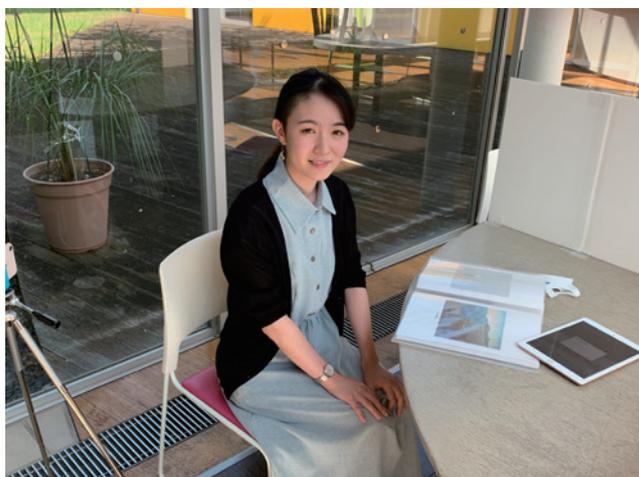
またある初参加者は「知人から教えてもらうまでこういう活動があることを知らず、良い機会と考えて参加しました。さらに友人に紹介したら、非常に喜ばれました。このクリーン活動は場所が近く時間も短い等敷居が低いので、無理のない範囲で続けられます」と語っています。次は皆さんもいかがですか。一度参加するとわかることが沢山あります。

次回は8月14日(土)検見川浜、8月28日(土)幕張の浜。時間や注意事項などは、「ここから☆ビーチクリーン隊」<http://kokokara-bc.jugem.jp/>でご確認下さい。

Who's Who Vol.51 坂本 葉子さん

夢はハリウッドで映画監督 現役芸大生の Youtuber

美術が好きで、将来ハリウッドの映画監督を目指している芸大生。そんな子がベイトウンに住んでいる、と聞き早速会って話を聞いてきました。彼女の名前は坂本葉子さん。打瀬中を卒業し、現在東京芸大の4年生です。ハリウッドで映画監督志望と聞いて、なんだか髪を染めてクリエイティブそうな雰囲気の人を想像して待ち合わせのコア・アトリウムに行きましたが、先に来て待っていたのは、写真のようにとても落ち着いた感じの女性でした。【松村】



水泳で活躍する持田早智さんが同じ学年で打瀬中の同級生だそうです。

坂本さんが美術を志したのは早く、小学校に入る頃にはもう「絵が描けないと死んでしまう」というほどで、小学校2年生のときに父親から絵をやるには芸大が「日本で一番の学校」と言われ、その頃から芸大に進むことを決めていたといいます。この頃の坂本さんは、同級生はもちろん、そのママ友の間でも「特別に絵の上手な子」として知られていたようで、アイロンビーズを使って部屋全体を埋めるような巨大なオブジェをつくって周囲の人を驚かせたりしていたそうです。

小学生の時には坂本さんの美術に対する関心は絵に限らず、彫刻なども含めた美術一般という漠然としたものだったようです

ベイトウンで芸術系の道に進む人は多く、特に音楽系ではピアノやヴァイオリンなどでこれまでも何人かをこの Who's Who の欄で紹介しましたが、美術系の人を紹介するのは初めてです。坂本さんが打瀬中を卒業したのは6年前。ヴァイオリンで同じく芸大4年生の有働里音さんと、

が、中学時代くらいから油絵に焦点を絞った制作をするようになります。この頃は特に通信教育で絵の勉強をしたといいます。中学を卒業する頃にはもう芸大に進むことをはっきり意識した勉強をするようになり、高校は進学系ではなく、自分の自由な時間をたくさん作れる学校を条件に選び、その時間を芸大専門の予備校でも勉強に費やして現役で東京芸大の美術学部に入學しました。

もっとも坂本さんが芸大で専攻したのは油絵ではなく、現代美術という制作よりも理論美術の世界でした。実は坂本さんは高校に入學する頃にはもう「絵を描くということではもう完成形にきている」と思っていたといいます。どんな絵を見てもこれなら描けるといいう自信は、逆に次に何をするか目標を失わせることになります。

「創造とは」という問いに挑む彼女が何を考え芸大での4年間を過ごしたのかは素人の記者にはよく理解できませんが、その後坂本さんは「芸術は衆衆のためにある。展覧会を見て出てくる人が悩むような作品を作っても仕方ない」、と考えるようになりました。そして今は映像作家として Ronix Film (Youtube チャンネル) などで作品を発表しつづけています。

「夢はハリウッド映画監督」。そう語る坂本さんの名前をいつかメディアで目にするのを待っています。

電動キックスクーターに乗ってみた (2)

電動キックスクーターは原付と位置付けられ、ナンバー取得、運転免許証の携帯、ヘルメットの着用で公道（車道のみ）を走ることが出来る。しかし、電動キックスクーターの実証実験実施エリア（千葉市の場合、美浜区と中央区の一部）に限っては、以下のような特例措置の対象になる。（抜粋）

1. ヘルメットの着用義務は任意
2. 時速 15km までのスピード
3. 押して歩いている時は車両の電源が入っていても歩行者扱い
4. 小型特殊自動車として自転車道の通行が可能
5. 車両通行帯の数にかかわらず、いわゆる「小回り右折」の義務化

7月1日現在、千葉市の実証エリア内に設置されているステーションは15か所だ。例えば、ベイタウンコアで借りて、海浜幕張駅前のステーションで返却することが可能で、エリア内15か所のステーションを自由に活用できる。今回は、ベイタウンコアを起点にして、海浜幕張駅（片道10分）とイオンモール（片道20分）まで走ってみた。

●車両の状況

LINEアプリに登録すると、設置場所やステーションにある現在の車両数が表示されるので、乗る前に必ず確認した方がよい。ステーションは分かりにくい場所が多いので、利用前の下見をお勧めする。

●ベイタウン内のステーション

「打瀬公民館前」と、「打瀬3丁目公園」にステーションがあるが、利用率が高く、電動キックボードが1台もない時間帯もあるので注意が必要だ。

検証走行時はベイタウン内ステーションにキックボードがなかったため、お隣のベイパーク内の「若葉3丁目公園」のステーションを利用した。

●ベイタウン内の状況

12番街前から1番街までのプロムナードは石畳だが、電動キックボードの小さなタイヤでは大きな振動を受ける。さらに、減速のために設置されているスピードハンブを乗り越えるときは必ず減速した方がよい。

●右折について

時速15kmでは、車と一緒に進む「小回り右折」はかなり厳しい。自転車や原付が行う「2段階右折」は認められていないので、大きい交差点では安全のため押し歩きで横断歩道を渡り、直進の青信号を待つやり方がお勧め。今回のルートでもほとんどの場合、このやり方で右折した。

●メッセ大通り

ベイタウン内を通る区間は、道幅が狭く、路肩が斜めになっていて、所々に排水口の窪みがあるので、道路の左端を走るのはちょっと怖い。

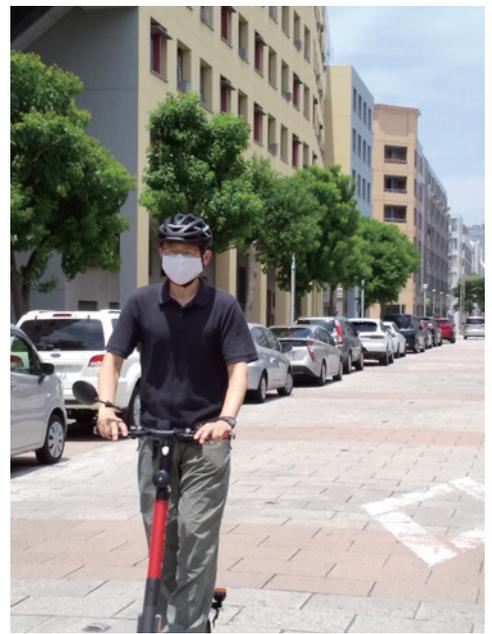
●海岸大通り

走行した時は、マリスタジアムでロッテ戦があった影響か、所々にハザードを点滅させている車両がいた。これらを抜くのに右側に少し膨らむのだが、こちらの15kmに対して、真横を走り抜ける車のスピードが速いので結構怖い。

浜田川にかかるメッセ大橋を超えると、急に路肩が狭くなり、路肩のでこぼこも強くなった。

●イオンモール周辺

基本的に走りやすいのだが、駐車場待ち



プロムナード・11番街前を走行する電動キックボード。ベイタウン内はとても安全だ。

車両が並んでいる場合、その横を通る時は注意が必要だ。

オリンピック期間中はメッセ前が通行止めになるので、イオンモールへの行き帰りは遠回りすることになる。左右どちらの道を選んで長い道のりだ。

●海浜幕張駅南口

プロムナードを抜け、マリンデッキ下を左折するルートの場合、2か所の交差点の右折さえ安全にこなせば、海浜幕張駅南口の駅前広場の銅像近くにあるステーションに電動キックボードを返却して電車に乗ることが出来るので、この使い方は便利かも。

今回の検証で社会（交通）インフラとしての電動キックボードの可能性を強く感じた。ただしベイタウンを起点として駅や買い物に行くのは便利だが、長距離の移動には適さないと思う。ベイタウン周辺のように広々と整備された道路は多くないし、電動キックボードは15kmしかスピードが出ないうえに、起伏のある地形には弱いからだ。

それでも、ヘルメットを被るようにし、行先に応じて開けた道を選んで、自ら安全を確保すれば楽しい乗り物だ。実証実験が終わった後、電動キックボードが交通インフラとして定着するのかが楽しみだ。【金】

フロイツ、強敵退け 4年ぶりに3位入賞

打瀬小、海浜打瀬小、美浜打瀬小などで活動している少年サッカーチーム「フロイツ」は2021年度千葉市美浜区少年サッカー大会（4年生以下の部）に出場し3位入賞を果たしました。

今年で28回目の開催となる同大会は、美浜区のサッカーチーム合計14チームを集め6/13（日）予選リーグ、6/20（日）決勝リーグの日程で開催されました。

予選リーグでフロイツは、バディーSC・C戦に5-0で快勝、続く強豪の磯辺FC戦では押し込まれる時間帯が多かったものの、ディフェンス陣が体を張った守備で0点に抑え、終了間際のカウンターから劇的なゴールを奪い1-0で勝利。見事予選を1位で突破しました。

決勝リーグでは、予選の勢いそのままに、強敵の美浜FCコパソルAに2-0で完勝、バディーSC・Aに0-9で大敗したものの、事実上の3位決定戦に駒を進めました。対戦相手は美浜FCコパソルL。幸先よくフ

ロイツが先制するものの地力に勝るコパソルLが後半立ち上がりに追いつき1-1に。そこから固唾を飲む一進一退の攻防の末、フロイツの得意のカウンターが決まり2-1で競り勝ち歓喜の3位入賞となりました。

フロイツ4年を指導する殿元コーチは「1年前、この学年は3人しか部員がいなかったことを考えるとこの結果は奇跡に近いと



思う。くじけずに努力すれば願いは叶うことを選手たちも経験できたのではないかと思います。今まで頑張ってきた選手を心から称えたいです」と目を細めました。

フロイツはベイタウンや幕張地区を拠点に、発足35年の歴史を持つ地元のサッカーチームです。チームカラーは紫です。入部や体験希望は公式HPより（フロイツ - フロイツ Froints (jimdofree.com)）（この記事はフロイツからの投稿を編集掲載しました）。





つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

● 9月申し込みの主催講座 9月2日(木) 9時~受付 郷土史講座「千葉氏の成立とその時代」

日時：9月15日(水) 10:00~12:00

場所：打瀬公民館講習室

対象：成人 抽選16名

費用：無料

講師：千葉市教育センター 百瀬一郎 先生

子育て支援講座「親子ふれあい教室」

日時：9月22日(水)・29日(水)の2回

A 9:50~10:50 ※いずれかの時間を

B 11:00~12:00 選択ください。

場所：打瀬公民館講習室

対象：1~2歳児と保護者 抽選A・Bそれぞれ8組ずつ

費用：教材費200円(2回分)

持ち物：お手拭き、濡れタオル、水分補給のためのお水等

親子で動きやすい服装

講師：UFOキッズ公民館サークル講師 美嶋 稲美 先生

◇ 申込方法

打瀬公民館窓口または電話(043-296-5100)

で申し込みください。抽選のうえ、受講者には連絡いたします。

※今後、千葉市内の公民館主催講座については、先着ではなく、原則として抽選により受講者を決めることになりましたのでご了承ください。

第203回ファティオリの会

日時：8月22日(日) 午前9:30~

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファティオリ」の演奏やその他の楽器演奏をして頂きます。ただし、今回もコロナウイルス感染拡大防止対策として、歌唱、管楽器演奏は行えません。また入場人数の制限、演奏中も換気のためホールドアを開放など新しい形での開催となります。担当者の指示に従って、ご参加頂きますようお願い申し上げます。非公開でのご利用も受付けております。状況により中止の場合もあります。

最新の情報は、<http://baytown-core.net/top.html> をご覧下さい

申込締切：8月15日(日)

申込先：09brillanteaki@gmail.com (庄司)

寺子屋工作ランド

「ぶんぶんごま」

日時：8月28日 第4土曜日 午前9:30~11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

ぶんぶんごまにいろをつけて回してみよう。

どんないろになるだろう。

持ってくるもの：はさみ、えんぴつ、クレヨン、いろがみ、サインペンなど

参加費：50円(保険料)

キュービックカフェ 8月・9月のイベント・ワークショップ



毎月第2土曜日はキュービックの日!『キュービックマルシェ』

<8月> 8/7(土) <9月> 9/11(土)

11:00~16:00 コミュニティスペース絆にて。※「例のパンや」さんは8月休み・9月出店予定です。

イベント最新情報はキュービックカフェホームページをご確認ください。

イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ

<https://www.cubic-cafe.com/>



● まん延防止措置の延長(8月22日まで)に伴う対応について

・20:00での閉館

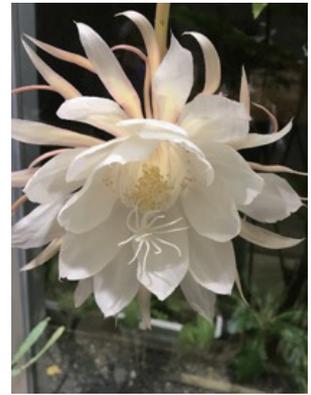
・自習室解放の停止

※アトリウムでの短時間の利用(休憩等)は再開します。

● 「月下美人」降臨

本館のアトリウム内の通路には、様々な鉢植えの植物が並び、季節の移ろいを感じさせてくれています。その中で、この時期になるとひと際注目を集めるのが、月下美人です。その名の通り、陽が沈み夜が更けたころに、妖艶な美しい花が開くという特別な性質は、人を惹きつける所以なのではないかと思えます。

本館の月下美人は、地域にお住いの鎌田さんがお持ちいただいたもので、職員の藤谷が世話をしながら株を増やして、毎年大輪の花を咲かせています。ただ、開花する時刻は毎回決まって夜の8時過ぎのため、閉館時間後になってしまうのが何とも惜しいところです。ただ、関心のある方は、お越しいただいて夜間勤務の職員(21:00まで)と共に、その希少な姿と香りを堪能されています。今年は例年より早い6/25を皮切りに、すでに3回開花しました。今後も9月初旬までは期待が持てます。ご来館の際には、ぜひ新たなつぼみを見つけてください。



6/25に開花した月下美人

わくわくおはなし会

わくわくおはなし会 8月のおはなし会は、夏休みのため「おやすみ」です。

次回のおはなし会は

日時：9月18日(土) 10時~、11時~の2回公演(予約・定員制)

場所：ベイタウンコア講習室

お申込みは9月4日(土)~の予定です。

お休みの間もブログやインスタグラム、facebookでおススメの絵本の紹介など掲載しています。

※最新情報はブログでご確認ください

ブログ更新中・見てね

** <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/> **

◆お問合せ先：waku2book@gmail.com

◆お申込み・お問合せ先：waku2book@gmail.com

ベイタウンニュースにチラシの挟み込み広告をしませんか。

ベイタウンニュースは地域の住民がボランティアで発行しています。発行の費用はすべて地域の商店や企業のみなさまからの広告で行われており、営利団体ではないので得られた広告費は全額ニュースの発行のために使用されます。

毎月第1土曜日にベイタウンの全戸に配布します。チラシ挟み込みの広告費は1回50,000円です。

お気軽にご連絡ください。

TEL: 043-211-6853、E-mail: mazmbtn@gmail.com (松村)

8月のベイタウンかふえ ~お休み~

8月のかふえは当初の予定通りお休みです。

次回は9月8日(水) 13:30~16:00に開催予定です。皆さまと笑顔で再会できることを楽しみにしております。コロナウイルス感染症、熱中症にはくれぐれもお気をつけ下さい。

問い合わせや、連絡等がありましたら、

うたせ認知症を考える会 中澤 (TEL: 211-0588) までどうぞ。

